

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和6年度分）

施設名	群馬県青少年会館	所管課	教育委員会生涯学習課
指定管理者名	（公財）群馬県青少年育成事業団	指定期間	5 年
利用料金制	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 一部導入 <input type="checkbox"/> なし		R2.4.1 ～ R7.3.31

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設所在地	前橋市荒牧町2番地12
指定管理業務内容	・群馬県青少年会館の管理及び運営 ・青少年健全育成事業の実施

2 職員の状況（令和6年4月現在）※主に指定管理業務に従事する職員数

通常（フルタイム）の職員：	8 人	合計：	9 人
短時間雇用の職員：	1 人		

3 収支の状況（令和6年度決算額）

（円）

収 入		支 出	
指定管理料	62,541,959	人件費	47,960,288
利用料収入	8,428,065	委託料	4,142,193
その他（事業参加者負担金収入）	183,100	光熱水費	5,993,393
自主事業収入	1,184,476	租税公課費	4,716,815
		その他（管理運営費等）	7,640,724
		自主事業支出	1,184,476
収入合計	72,337,600	支出合計	71,637,889

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入（指定管理者団体全体の収支ではない。）

4 利用の状況

	令和6年度（実績）	（参考）令和5年度（実績）	（参考）令和4年度（実績）
①年間利用者数（人）	32,374	32,206	21,748
②使用料収入（円） （県納付額）	0	0	0
③利用料収入（円） （指定管理者収受額）	8,428,065	8,443,375	4,142,705

5 施設における実施事業の状況

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
中学生・高校生交流ボランティア体験	講義 7/6 ボランティア活動の実践 7/7	ボランティア参加者22名 ボランティア実践事業（ゆめすくーるmini）参加者29名	【目的】県内の中学生・高校生に対し、ボランティア活動に対する知識を伝えるとともに、活動の実践を通して交流を深める機会を提供する。また、ボランティアに対する意識啓発を行うことにより、継続した活動を推進する。 【内容】ボランティアに関する基礎的知識の習得、ボランティアの実践、参加者同士の交流	・ボランティアについて知識を深め、子どもへの接し方を学べたため、当日は子ども達との交流に安心して参加できた。 ・子ども達にさりげなくアドバイスするような形で直接介入せず、小学生自身に取り組んでもらうことができた。 ・子ども達は、予想以上に元気で明るく、私まで元気をもらえた。ケガも無く、楽しく一緒に遊べて良かった。

若者ボランティア フェスティバル 【新規事業】	事前研修・ 会場準備 2/22 開催 2/23	来場者123名 高校生ボラン ティア35名 ブース出展者等 53名	【目的】既存団体の地域活動 やボランティア活動の認知度 向上と若者による事業継承 を目指し、関係機関や団体 指導者と協働で若者のボラ ンティア活動促進をテーマに した交流活動を企画、実施す る。 【内容】関係機関、団体、若 者ボランティアでつくる交流 事業の企画・開催	・事前研修があることにより、 よりよい交流をして、本番を 迎えることができた。 ・同世代だけではなく、年上 の方とも話すことができ、とて もよい機会だった。 ・時間にゆとりがある時、他 ブースのボランティアの方が 自分達のブースに来てくれ て、交流することができた。
学生地域貢献活動 参画推進事業(大 学生と初めてのダ ブルダッチ体験会) 【新規事業】	9/21	参加者20名 スタッフ(大学 生)9名	【目的】大学生や専門学校生 によるボランティア活動及び 地域貢献活動を助言、後援、 共催等で支援する。 【内容】学生と協働した事業 の企画・開催、活動場所の提 供	(小学生)やさしく教えてくれた のでとてもわかりやすく、た のしかった。 (大学生)学校や学年の違う 子ども達だったが、みんなで 同じ技に挑戦することで、そ れぞれが刺激をもらっている ように感じた。一人の子がで きるようになると、次の子もそ れに続いてできるようになっ ていく場面が多くあり、私も一 緒にダブルダッチができて楽 しかった。またダブルダッチを やりたいと思ってくれる子も いて、とても嬉しかった。私自 身も、また子ども達とダブル ダッチを楽しみたいと思った。 貴重な経験をさせて頂きあり がとうございました。
体験活動・ボラン ティア活動支援セン ター	通年	6件36名	【目的】青少年及び指導者の ボランティア活動に関する情 報を収集し、ボランティア活 動を希望する青少年等とそ れを必要とする学校や青少 年団体との連絡調整を行い、 協働の機会を設ける。 【内容】ボランティア活動に関 する情報収集と提供、活動 希望者と希望者を受け入れ る学校や青少年団体との連 絡調整	・県が運営するサイト「ボラス ルン」に登録して、ボランティ ア活動・体験活動を希望する 個人や団体に情報を提供し、 活動の促進を図った。 ・県や前橋市が主催する中 間支援センター研修会に出 席し、事業のPRを行った。
心のバリアフリー事 業(ふれあい・ゆう あい交流フェスタ)	事前研修 10/19 開催日 10/20	来場者747名 実行委員・ボラ ンティア等77名	【目的】障がいのある人とな い人がともにふれあい、互い に理解し合える場作りに向け て、障がいのある子どもを支 援する団体や青少年関係団 体関係者等と協働で実施す るという趣旨でフェスティバル を開催する。 【内容】障がい児の活動を支 援する団体等との連絡調 整、実行委員会組織の設 置、「ふれあい・ゆうあい交流 フェスタ」の開催	・ボランティアの方が前向き な気持ちで取り組んで貰え て、コミュニケーションを図り ながら円滑に進めることがで きた。 ・運営する側も楽しく取り組む ことができたので良かった。 ボランティアの方と笑顔で活 動することができた。

親子ふれあい体験教室(おやこ木工教室)	7/20 7/21	参加者24名 高校生ボランティア2名	<p>【目的】親子の共同・協力作業を通して、親子と参加者、ボランティアのふれあいを深める。また、レクリエーションにより、交流を図る。</p> <p>【内容】親子で一緒の木工作業、制作作品の紹介、参加者と青少年団体とのレクリエーションによる交流</p>	<p>(小学生)むずかしかったけど、たのしかった。自分のオリジナルを作れたのがよかった。自然の木がこんなに色々な形になることがおどろきでした。</p> <p>(高校生)職員の方がたくさん話しかけて下さり、リラックスして、楽しみながら活動できました。機会があればまたボランティアに参加させていただきたいです。</p>
高校生写真講座～デジカメワークショップ～	6/15	95名	<p>【目的】デジタルカメラ写真に対する知識や技能を高める機会を高校生に提供し、班活動による写真撮影および組写真作品の制作・発表を通して、参加者同士の交流を図る。また、他事業で撮影ボランティアとしての活動機会を提供する。</p> <p>【内容】撮影活動を通じた交流、デジタルカメラの基礎知識・技術の習得、グループワークによる組写真の制作</p>	<p>・組写真の種類や組み方、構図やテーマの見つけ方がよくわかった。</p> <p>・それぞれの発想を自由に出し合って、積極的にコミュニケーションがとれた。</p> <p>・初めは緊張したが思ったよりも仲良くなれてたくさん写真を撮れて楽しかった。</p>
交流文化体験	6/29 6/30	参加者42名 留学生4名 高校生ボランティア延べ11名	<p>【目的】児童と留学生、高校生ボランティアが海外や日本の文化をテーマとした体験活動を通じて、多様な価値観に触れるとともに異年齢集団における交流を図る。</p> <p>【内容】青少年団体指導者のアイスブレイク、留学生の出身国についての話や遊び、日本文化体験</p>	<p>(小学生)インドネシア語を学んでみたいと思った。</p> <p>(小学生)人形浄瑠璃がおもしろかった。あんなに上手に操れてすごいと思った。</p> <p>(留学生)プレゼンテーションとゲームの時にも小学生と交流ができたと思う。子ども達がすごく元気なので、自分も元気になった。</p>
高校生と小学生の夏休み交流活動(夏だ！書道だ！おもしろ筆だ！)	8/1	参加者15名 高校生ボランティア13名	<p>【目的】部活動や委員会活動に励む高校生に対し、小学生の体験教室に関わる機会を提供する。事業を通じてボランティア活動の達成感から年少者を思いやる心を育む。</p> <p>【内容】アイスブレイク、筆の工作、作成した筆を用いたうちわ作り</p>	<p>(小学生)筆を作ったり、描いたりするのが楽しかった。書道の楽しさが分かった。家でも作ってみたい。</p> <p>(高校生)小学生への接し方が難しかったが、自分なりに説明し、小学生に分かりやすく工夫した。</p> <p>(高校生)小さい子どもとふれあう機会がなかったので、良い経験になった。</p>
小学生ドローン体験【新規事業】	8/7	参加者16名 高校生ボランティア2名	<p>【目的】ドローンの操縦を体験するとともに正しいルールやマナーを学ぶ。また操作を通して参加者同士の交流を行う。</p> <p>【内容】ドローンに関する講義、操縦体験</p>	<p>(小学生)ドローンは、人が行けない災害地などで撮影もできると初めて知った。</p> <p>(小学生)すごい方に飛んですぐ面白かったし楽しかったので、買いに行ったら家でいっぱい遊びたいです。またドローンの体験をしたいです。</p> <p>(高校生)最初は緊張していましたが、小学生とふれ合いながらやっていくうちに、楽しくできたのでよかったです。</p>

小学生イラスト講座 【新規事業】	8/21 8/22	参加者22名 高校生ボランティア6名	【目的】マンガ家やイラストレータ等からイラストの描き方を学び、互いの作品を鑑賞する。 【内容】イラストに関する講義、テーマに沿った製作活動	(小学生)絵を描く順番がわかり「絵ってこんなに面白いんだ」と思った。 (高校生)気さくに話しかけてくれる小学生と仲良くなれて、充実した2日間を過ごすことができた。
企業コラボ体験活動 【新規事業】	【わくわくメガネを考えよう】 7/31	【わくわくメガネを考えよう】 参加者18名 スタッフ(企業)2名 高校生ボランティア12名	【目的】県内企業の協力を得て小学生を対象とした体験活動を提供するとともに、働くことについて考える機会とする。 【内容】企業と連携したプログラムの立案、企業の特性を生かした体験活動やクラフト等の実施	(小学生)楽しかったし、自分の考えたメガネが賞に選ばれて嬉しかったです。 (小学生)みんなと仲良くでき、自分で考えて作る事ができた。 (高校生)とても楽しかった。小学生と貴重な体験ができて良かった。子どもたちの豊かな発想に触れられて良かった。
	【青少年会館のみんなとあそぼう!】 8/17	【青少年会館のみんなとあそぼう!】 来場者132名 スタッフ(群青連協)14名 高校生ボランティア12名		・会場が夏なのに涼しく、身体が楽でした。おしゃれな会場で、来場者も明るい雰囲気の中楽しめたと思います。 ・クラフトを作成中に、会話を楽しめた。楽しそうな笑顔がたくさん見られた。
青少年団体活動支援事業	【夏休み宿題お助け隊】 8/3 8/4	【夏休み宿題お助け隊】 参加者177名 スタッフ(群青連協)40名 高校生ボランティア49名	【目的】体験活動を通じ、青少年の課題解決能力や社会性を育む。また、各青少年団体の特性を生かした体験活動の提供と高校生のボランティアの養成を行い、団体活動の魅力を発信する。 【内容】青少年団体の情報収集、青少年団体の事業支援、青少年団体と共催事業の開催、群青連協加盟団体に担当配置	【夏休み宿題お助け隊】 (小学生)お姉さんたちが背景の色や文字の色と一緒に考えてくれたので嬉しかった。 (高校生)最初は小学生たちと距離があってよいアドバイスができなかったが、だんだんと打ち解けることができて、一緒に話をしながら宿題のサポートをすることができた。
	【夏休み子ども茶道教室】 8/18	【夏休み子ども茶道教室】 参加者18名 スタッフ(ガールスカウト)3名		【夏休み子ども茶道教室】 (小学生)お茶の点て方を習って、みんなとできて楽しかった。また、このような機会があったら茶道をしたい。とても勉強になった。 (スタッフ)子どもとふれあう機会をいただき、私達も楽しみながら進行することができた。
	【おやこで茶道教室】 12/8	【おやこで茶道教室】 38名 スタッフ(茶道会青年部)7名		【おやこで茶道教室】 (小学生)茶道には興味があつたため体験できて良かった。クリスマスのお茶碗や茶杓がかわいかった。 (保護者)掛け軸やお花にも意味があつたり、一つ一つの動作にも相手をもてなす心がこもっていたりとても勉強になった。

(前頁続き) 青少年団体活動支援事業	【目指せ！ギネス記録 紙飛行機づくりとオリジナルスノードームづくり】 1/26	【目指せ！ギネス記録 紙飛行機づくりとオリジナルスノードームづくり】 参加者84名 スタッフ(群青連協)10名 高校生ボランティア47名		【目指せ！ギネス記録 紙飛行機づくりとオリジナルスノードームづくり】 (小学生)同じチームの子と友達になった。高校生とも友達になることができた。自分らしいスノードームが作れて嬉しかった。 (高校生)ふだん小学生と関わりがなく、よい経験になった。ボランティアをするのが初めてで緊張したが、楽しく会話できた。子ども達だけでなく、我々、高校生側も十分すぎるほど楽しめた。また、こういった活動があればぜひとも参加したい。
	【ボランティアのつどい】 3/8	【ボランティアのつどい】 高校生ボランティア33名 スタッフ(VYS)5名 小学生45名		【ボランティアのつどい】 (小学生)また来年あれば行きたいです。今日は楽しかったです。 (高校生)たくさんの小学生と触れ合うことができてとても楽しく、良い経験になった。開催側に携わることができて、いろいろな人の努力があることを知ることができた。
地域団体応援事業 (親子で楽しむ性教育フェスタ) 【新規事業】	9/23	来場者456名	【目的】青少年育成団体に活動拠点として青少年会館の利用を推奨するとともに活動を推進するため、支援及びプログラム立案を助言する。また、既存の青少年団体との協働をコーディネートし、相互の連携関係を築く。 【内容】青少年会館事業の理解促進と協力関係の構築、青少年会館を活用した活動場所の提供やプログラムの提案	・家でなかなか性教育をする機会がないため、このようなイベントがあるとありがたいです。また参加したいです。 ・室内イベント、規模感、広々とした飲食ブースの確保、キッズスペースや子どもの遊べる空間、親にとっても学べる講義、またそのサポートとして子どもを預かってくれるサポーターさん、ハイハイの子どもから小学生、大人まで楽しく過ごせて満足のいくイベントでした。家族みんな次も行きたい！と、今年一番のイベントとなりました。
ぐんま青少年ねっと	通年	学習情報コーナー利用者95名	【目的】Web・ブログ・SNSにより青少年会館及び、青少年健全育成事業の情報を発信する。また、会館利用者がインターネットを利用できる環境を整え、青少年の自己学習や情報収集を支援する。 【内容】会館運営、事業開催情報の提供、Web等の管理・更新作業、事業・利用に係る通信環境、データベース等の管理と運用	・Webページ、ブログ、SNS等で認知度を高めるための投稿を行った。 ・ユーザー数、ページビュー数、Organic search(GoogleやYahoo等の検索エンジンの検索結果からページを訪れた人数)など、全体的に昨年度よりも数値が底上げされていることから、会館の認知度を高められていると考えられる。

青少年活動事例調査	通年	視察3箇所 (令和6年度第1回市町村社会教育関係職員ステップアップ講座 「eスポーツ体験を活用した公民館講座をつくろう」、前橋市高校生学習室、(株)リクシルトータルサービス北関東支店)	青少年会館の運営及び主催事業の参考となる公共施設及び青少年対象のプログラム等を視察する。また、社会教育関係者や青少年団体、地域団体が実施・参加する事業や研修等に職員が赴き、関係者と情報交換を行うとともに、団体や社会教育関係者との今後の業務に向けた連携・協働関係を築く。	・今の時代の青少年にとって大きな興味関心事項のひとつとしてeスポーツが挙げられるが、事業団の新規事業として企画実施する際の課題、準備、環境整備等の情報収集ができた。 ・学習・ワークスペースを充実させるにあたり、先進施設であるtsukurun前橋高校生学習室を訪問した。設備配置や掲示物、接客対応の状況を視察し大変参考になった。
(参考)自主事業	青少年会館友の会事業	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバンスユニット「ゆめすくーる」 ・指導者養成ユニット「クリスマスリースづくり」 		<ul style="list-style-type: none"> ・「ゆめすくーる」では学生会員が児童対象の体験活動を企画・立案し、3コースを運営した。 ・「クリスマスリースづくり」では会員が自主的に活動を企画し、天然素材を活用したリース作りを伝授した。
	地域連携協力事業	<ul style="list-style-type: none"> ・体験の風をおこそう運動協力 ・町たんけん(小学校2年生の施設見学) ・大学生の社会教育実習受け入れ ・高校生短期インターンシップ受け入れ ・ライオンズクエストワークショップ 		<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の施設見学や高校生・大学生のインターンシップや研修等では事前に学校の担当者と協議を重ね、有意義なプログラムを提供した。 ・他施設との連携では館外でのイベント等に積極的に参加し、事業団のPRに努めた。
	新年交歓会	<p>当事業団の関係者が一同に会し親睦を深めることにより、各種事業の広報と関係機関との連携強化、施設の一層の利用促進を図り、当事業団の充実発展を目的に開催する。</p> <p>参加者 65人</p>		<p>当会館にゆかりがある団体にステージ・司会・呈茶を依頼したため、出席者に当会館と青少年団体等との連携・協力について理解を得ることができた。</p>
	団体補助	事務局運営用補助金の交付		5団体

6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

利用者満足度調査については、①施設利用、②青少年健全育成事業でそれぞれ実施している。

(1)施設利用

(実施期間)

通年で実施した。

(実施方法・回収率等)

施設利用団体責任者へアンケート調査を実施した。(回答数:625通)

また、利用を終える際に直接生の声をヒアリングした。

(項目別回答集計)

▼性別:男性 48.48% 女性 48.96% 未回答 2.56%

▼年代:高校生以下 18.72% 大学生 4.00% 20代 7.04% 30代 11.84%

40代 18.88% 50代 18.72% 60代以上 19.68% 未回答 1.12%

▼地域:前橋市内 30.88% 市外 28.32% 県外 38.56% 未回答 2.24%

▼利用頻度:初めて 27.36% 週に数回 0.32% 月に数回 21.44%

年に数回 39.36% ほとんど利用しない 8.00% 未回答 3.52%

▼職員の対応:満足 80.48% まあ満足 12.32% 普通 5.76% やや不満 0.16% 不満 0.00% 未回答 1.28%

▼料金設定:満足 69.92% まあ満足 11.84% 普通 6.24% やや不満 0.96% 不満 7.68% 未回答 3.36%

▼利用時間の設定:満足 73.60% まあ満足 14.72% 普通 7.68%
 やや不満 0.96% 不満 0.64% 未回答 2.40%

▼照明の明るさ:満足 76.64% まあ満足 12.96% 普通 8.64% やや不満 0.48% 不満 0.16% 未回答 1.12%

▼清潔度:満足 70.24% まあ満足 20.80% 普通 7.04% やや不満 0.64% 不満 0.16% 未回答 1.12%

▼使いやすさ:満足 68.00% まあ満足 22.40% 普通 6.88% やや不満 1.28% 不満 0.32% 未回答 1.12%

▼案内表示の分かりやすさ:満足 76.16% まあ満足 13.92% 普通 7.52%
 やや不満 0.96% 不満 0.16% 未回答 1.28%

▼安全性:満足 70.72% まあ満足 20.64% 普通 6.88% やや不満 0.00% 不満 0.32% 未回答 1.44%

▼総合的な印象:満足 73.28% まあ満足 16.80% 普通 7.04%
 やや不満 0.32% 不満 0.32% わからない 0.16% 未回答 2.08%

▼交通手段:自動車 76.16% 公共交通機関 5.44% 自転車 1.60% 徒歩 1.44%
 その他 6.08% 未回答 9.28%

▼知ったきっかけ:会館HP 32.75% リーフレット 1.60% 事業案内 1.44% 新聞 0.00%
 ブログ 0.48% X 0.16% 知人 28.43% その他 31.15% 未回答 3.99%

▼ホームページの分かりやすさ:わかりやすい 99.34% わかりにくい 0.66%

▼利用目的:会議室 39.97% 宿泊 43.51% 主催事業参加 0.15% その他 13.42% 未回答 2.95%

▼利用する際の手続き・申請方法について:便利 62.24% 普通 28.96% 不便 0.64% 未回答 8.16%

▼また利用したいか:利用したい 91.20% どちらともいえない 6.08% 利用しない 0.32% 未回答 2.40%

(利用者からの意見等)

- ・シャワーの水圧が弱かった。
- ・本館が3階までのエレベーターが無い。
- ・自動販売機が少ない。
- ・お花や苗のプレゼントがありがたかった。
- ・演台や講師の机など、新しくなっていて気持ちよかった。

(調査結果分析)

総合的な印象では、「満足」と「まあ満足」を合わせて90.1%、さらに「また利用したい」との回答が91.2%と高く、利用者から満足度の高い評価を得ている。また、大きな苦情は寄せられなかった。

(調査結果への対応状況)

- (要望)部屋の場所が分かりにくい。
- (対応)各宿泊室のファイルに館内図を追加した。
- (要望)脱衣所が寒い。
- (対応)脱衣所にオイルヒーターを導入した。
- (要望)風呂の時間を延長して欲しい。
- (対応)宿泊人数や男女比等を確認し、できる限り不便がないように時間調整している。また、交通事情で到着が遅くなってしまった団体には入浴時間を延長して対応した。

②青少年健全育成事業

(実施期間)

事業後にアンケートを実施した。

(実施方法・回収率等)

事業終了時にアンケート用紙を配布して記入してもらうとともに、職員による感想の聞き取りをした。

(項目別回答集計)

各事業毎に、感想・応募動機・要望等についての設問を設けて集計し、結果を分析した。なお、令和5年8月にアンケート内容を見直し、回答者の年齢層や所属に合わせて質問内容を調整した。

(利用者からの意見等)

○小学生

- ・とても楽しかった。先生がすごく優しくて良かった。またやりたい。高校生のお姉さんたちも優しく接してくれて嬉しかった。(小学生イラスト講座)
- ・ダブルタッチがたのしかった。ダンスもつけていたのでたのしい。パフォーマンスを見て、さか立ちや高速ダンスがすごかった。(学生地域貢献活動参画推進事業(大学生と初めてのダブルタッチ体験会))

○高校生ボランティア

- ・普段の生活で子どもと触れ合う機会がなく、接するのが難しいように感じていたが、子ども達と話すとの底から楽しむことができて、幸せだった。(中学生・高校生交流ボランティア体験)
- ・小学生とのふれあいの中で、自分自身で制作する力を育めるように努めることができた。(高校生と小学生の夏休み交流活動)

○青少年団体

- ・チラシと一緒に配らせてもらえて大変ありがたかった。混雑時ではない時間では、保護者の方に団体の話をし、興味深く聞いて下さっていた方もいた。(企業コラボ体験活動)
- ・高校生が積極的に小学生とコミュニケーションをとり、サポートしてくれたので、とても動きやすかった。(青少年団体活動支援事業)

(調査結果分析)

- ・小学生の体験・交流活動では、どの事業でも概ね楽しかったとの回答を得た。
- ・ボランティアやスタッフとして事業に参加した高校生・大学生からは、達成感・満足感を得ることができた旨の回答が多く、次年度も事業に参加したいとの声もあった。
- ・アンケートの実施結果は県指定様式の事業報告書に集約し、職員で共有した。

(調査結果への対応状況)

- ・高校生ボランティアに事前研修を行い、青少年団体指導者及び職員が趣旨や活動について説明を行った。今後も事前研修は継続する。
- ・青少年団体の協力により、高校生ボランティアが充実した活動できるようプログラムを準備した。
- ・高校生ボランティアが継続して参加できるよう、事業終了時に事業案内や団体紹介を行った。

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

なし

注) 項目は例示であり、調査等の状況に応じて、任意様式で同様の内容を記載して構わない。

7 管理運営状況の評価 (A:優良、B:良好、C:要努力、D:要改善)

評価項目	総合	評価の考え方	評価できる事項及び
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき青少年健全育成事業に取り組み、利用者の満足度も高く、良好な管理運営状況である。一方で、会館利用者数は前年度から微増であり、利用者増にはまだ結びついていないため、更なる利用促進を期待する。 ・「青少年会館」を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、施設に求められる役割・ニーズを考慮しながら、更なる施設の活用を進め、青少年育成の拠点としての機能を最大限発揮できるよう努めていきたい。 	<p><評価できる事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理等を適切に行い、青少年健全育成事業の6つの新規事業を実施し、利用者の満足度も高い。 ・Instagramの開設、WEBページの拡充、WEBシステムによる会議室予約の開始等の努力が見られる。 <p><改善すべき課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の利用者数は、前年度比微増であり、新規事業の実施や、広報等に努めているものの、コロナ禍以前と比較すると依然少ない状況にある。

(個別項目ごとの評価)

評価項目	評価
平等利用の確保	A
サービスの提供内容	B
管理費用の執行状況	A
管理運営体制	A
法令遵守等	B
労働条件評価の実施	無

評価項目	評価
利用者対応	A
地域貢献	A
環境問題への取組	B
防災対策及び緊急時の対応	A
個人情報保護及び情報公開	A

(参考) 指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	総合	評価の考え方
指定管理者の 自己評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・6つの新規事業の実施、Instagram新規開設やWEBページ更新等による広報の充実等、新規取組に注力する一方で、従来から行っている施設の雰囲気づくりや、青少年団体の支援、高校生ボランティアの受入れ、軽微な修繕は職員で行う等の経費節減も継続して尽力した。 ・一方で、平日における利用者増の取組、会議室・宿泊利用以外にも立ち寄りやすい施設サービスの充実、青少年団体へのPR等は今後も特に改善すべき課題である。
評価委員会の 年度評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営や維持管理の適切な実施及び新たな青少年健全育成事業の実施は評価できる。 ・新規事業の実施や広報活動等が利用者増に結びついていない。

注)「個別項目ごとの評価」の評価項目は、施設及び利用の形態に応じて、選定時の審査項目、仕様書・事業計画等と整合性を持った項目を設定する。